

親鸞さまの

【本文】

眞実信 心うるゆゑに

すなはち定 聚にいりぬれば

補処の弥勒におなじくて

無 上覚をさとるなり

【意識】

眞の信心(阿弥陀様におまかせする心)を頂くからこそ

極楽に往生し、成仏することが定まる身と成れます。

その身は、成仏が確定するという意味で、弥勒菩薩(お釈迦様滅後の仏様の空位を補うお方)と同様です。

そして、極楽にて、最上のさとりを得させて頂くのです。

【私の味わい】

先月までコロナ禍で自粛生活が長かったですね。私事ですが、敢えて良い面を挙げれば家族の時間が増えた事でした。これまで、子供たちが塾や部活でバラバラに行動していたものが、パタッと無くなったことで、夕食後に共通の時間が空いたのです。皆で、映画でも観ようという事で、連日様々な映画を鑑賞しました。

私は、元々映画好きですので、以前自分が面白いと感じた作品を子供たちにも勧め一緒に観ました。当初は、家族皆で面白い、良かったと当初は喜んでいました。培ってきた経験が役に立った当初は喜んでいましたが、次第に良かれと思つて紹介する映画が、段々と子供にはよく分からない内容が多く含まれていることが視聴後の感想で分かってきました。子供にも合った内容とは、簡単なようでそうではないのだ、と感じました。阿弥陀様は、私たちに難解な内容を理解し、難行をせよ、さすれば救おうと仰せではありません。南無阿弥陀仏を聞き信じて、お念仏せよ、これだけです。これは、阿弥陀様が、私たちの性質を見抜いて、私たちに合わせてシンプルにして下さったのです。しかし、その実に容易にされた内容を、私たちはその通りに為しているのでしょうか。南無阿弥陀仏を聞く、とは「あなたを必ず極楽へと連れ往こう、この阿弥陀にまかせよ」とのお心を聞くという事です。そのお心をそのまま信じて、感謝のお念仏をさせて頂く。この反復の中で、往生は、成仏は必ず定まっています。

ひとえに南無阿弥陀仏を聞き信じ、お念仏させて頂きましょう。

(悠水)